

広域避難場所

火災の延焼が大規模な場合の避難場所です。

- ① 愛知教育大学

避難所

災害の規模に応じて、安全性を確認できた場合に開設します。

- ① 北部生涯学習センター

避難可能施設

災害の規模が大きい場合などに各地区の自主防災会が開設します。

- ① 井ヶ谷市民館
- ② 西境市民館

【浸水想定区域】

このハザードマップは、大雨や地震により異常な状態におかれたため池の堤体が決壊した場合を想定し、浸水する可能性がある区域を記載しています。

この地図の浸水区域は、満水の水が溜まっている、ため池の堤体が決壊した場合の最大浸水深を表示しています。

浸水想定区域を把握し、ため池の異常を発見した場合や避難勧告等が出た場合など、ため池による災害のおそれがあると思われる場合に、速やかに避難してください。

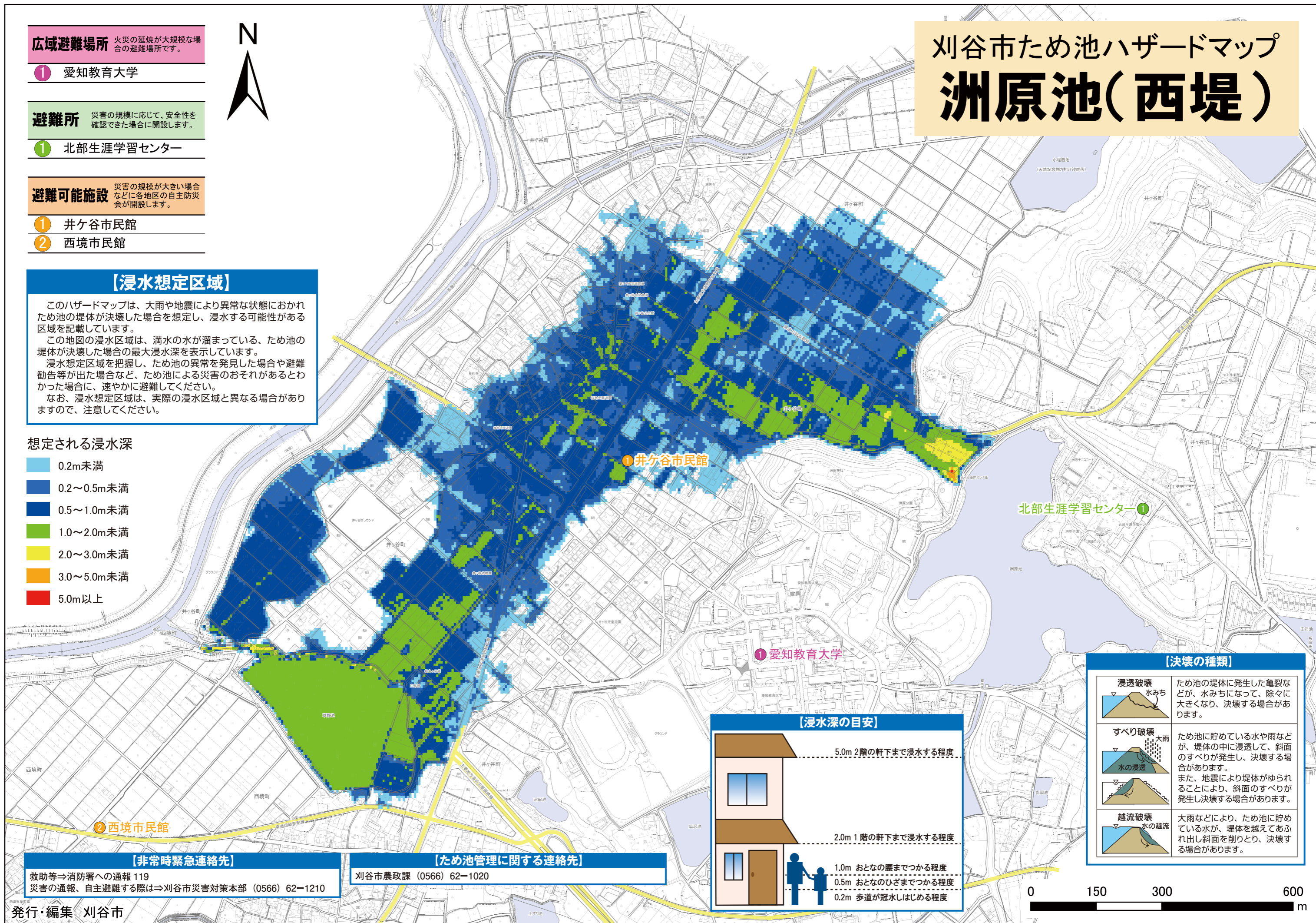
なお、浸水想定区域は、実際の浸水区域と異なる場合がありますので、注意してください。

想定される浸水深

- 0.2m未満
- 0.2～0.5m未満
- 0.5～1.0m未満
- 1.0～2.0m未満
- 2.0～3.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 5.0m以上

刈谷市ため池ハザードマップ

洲原池(西堤)



① 井ヶ谷市民館

北部生涯学習センター①

① 愛知教育大学

② 西境市民館

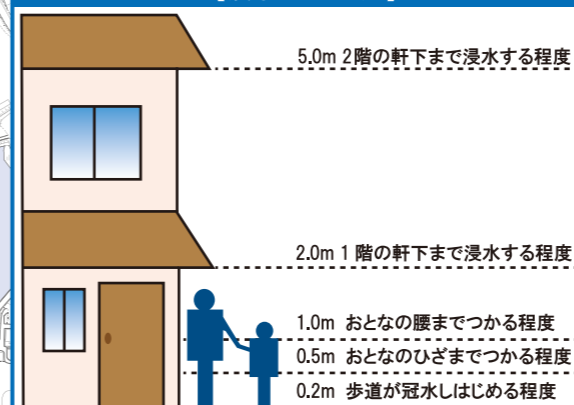
【非常時緊急連絡先】

救助等⇒消防署への通報 119
 災害の通報、自主避難する際は⇒刈谷市災害対策本部 (0566) 62-1210

【ため池管理に関する連絡先】

刈谷市農政課 (0566) 62-1020

【浸水深の目安】



【決壊の種類】

	浸透破壊 水みち ため池の堤体が発生した亀裂などが、水みちになって、徐々に大きくなり、決壊する場合があります。
	すべり破壊 大雨 ため池に貯めている水や雨などが、堤体の中に浸透して、斜面のすべりが発生し、決壊する場合があります。 また、地震により堤体がゆらることにより、斜面のすべりが発生し決壊する場合があります。
	越流破壊 水の越流 大雨などにより、ため池に貯めている水が、堤体を越えてあふれ出し斜面を削りとり、決壊する場合があります。

